

鏡石町立鏡石中学校

教科名等：技術・家庭（家庭分野）
単元(題材)名：わたしたちの成長と家族・地域
学年：第2学年

実施状況

鏡石町小・中学校授業研究会の研究授業として行われた。事前授業として、中学校に幼稚とその保護者を招き、幼稚とのふれあいを行った際、保護者にも子育てについての質問し、自分はどんな風に子育てに関わっていきたいか考えさせた。

授業では、男性で育児休暇を取った例をあげ、また、男性教員の自分の子育てについての話を事前に録画したものをお授業内で視聴し、性別に関係なく、子育てに関わっていけることを確認した。



生徒の感想

- ・ 子育ては、女性が関わることが多いと思っていたけれど、男性も育児休業が取れるということを初めて知った。自分も育児休業をとってみたい。
- ・ 夫婦で子育てすることは、大事だと思った。私は、将来仕事をしたいと思っているので、夫と話し合って、二人で子育てをしていきたい。
- ・ 私は、結婚したら専業主婦になりたい。だから自分が主に子育てをしていきたい。でも、夫にも協力して欲しい。

参観者の感想

- ・ 生徒の感想の中で、「自分は…」という表現が多くあった。普段から一人一人の意見を大切にしているからだと思う。
- ・ 男女共同参画社会について、子どもたちにも無理なく考え方をさせることができていたのではないかと思う。
- ・ 知っている学校の先生方のインタビューや子育て芸人など、生徒は興味を持ってVTRを見ることができていた。

指導者の感想

自分が育ってきた環境を振り返り、また将来の自分の子育てを考える、良い機会となった。子育てをするということに、性差は関係なく、自分が望めば関わるということが理解できたようだ。生徒同士話し合いの時間を設け、自分だったらどうしたいのか、発表させる時間があれば、もっと深まったのではないかと思った。

